

令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」
出演希望調書 No.1 (共通)

制作団体名	株式会社 東京演劇集団 風
公演団体名	東京演劇集団 風

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	該当	種目
【音楽】		合唱, オーケストラ等, 音楽劇, その他
【演劇】	○	児童劇, 演劇, ミュージカル, ノンバーバルその他
【舞踊】		バレエ, 現代舞踊, その他
【伝統芸能】		歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸, その他
【美術】		洋画, 日本画, 版画, 彫刻, 書, 写真, その他
【メディア芸術】		映像, メディアアート等, その他

取り組み (該当する取り組みに○を付してください。)

該当	取り組み
	①障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
○	②字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

--

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分 (該当する区分に○を付してください。)

該当	区分
○	《D区分》公演をメインプログラムとする企画
	《E区分》ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間等 (原則として令和5年6月1日(木)～令和6年1月31日(水)まで)

可能期間	令和5年6月1日(木)～令和6年1月31日(水)
連日公演の可否	○可 / 不可

実施可能地域(実施可能な地域名の前に○を付してください。)

該当	地域	都道府県
○	限定なし	
	北海道	北海道
	東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
	南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
	北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野
	北陸	新潟, 富山, 石川, 福井
	東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重
	近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
	中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
	四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知
	九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ とうきょうえんげきしゅうだん かぜ 株式会社 東京演劇集団 風		
代表者職・氏名	代表取締役 浅野佳成		
制作団体所在地	〒164-0003 東京都中野区東中野 1-2-4		
制作団体 設立年月	1987年 10月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 浅野佳成 理事 柳瀬太一、緒方一則、 西垣耕造 監査 柴崎美納、龍澤武	【団体構成員】 劇団員(専属契約)32名 俳優24名/スタッフ8名 【劇団加入条件】 実習生として1年の養成期間を経た後3年間の研究生期間を経て劇団員となる	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	Web サイト等 URL	https://www.kaze-net.org/top
本事業担当者	江原早哉香、柴崎美納	本件連絡先	電話番号 03-3363-3261 MAIL sayaka@kaze-net.org
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	辻幸男

【公演団体について】

ふりがな 公演団体名	とうきょうえんげきしゅうだん かぜ 東京演劇集団 風		
代表者職・氏名	劇団代表 柳瀬太一 / 芸術監督 浅野佳成、江原早哉香		
Web サイト等 URL	https://www.kaze-net.org/top		

特別支援学校等
における活動実
績や障がいを持
ったアーティスト
の活動を広げる
公演等の活動実
績

[特別支援学校での実績]

特別支援学校 48校、盲学校 9校、聾学校 17校 のべ 74校
(知的・肢体・病弱含む)

演目別実績『星の王子さま』48校、『ヘレン・ケラー』29校、『Touch』7校

年度別実績 2022年度 47校、2021年度 23校、2020年度 7校 (連続実施校含む)

1990年～ 北海道教育大学附属特別支援学校／宮崎県立都城さくら聴覚支援学校

2000年～ 岩手県立盛岡青松支援学校／栃木県立那須特別支援学校／群馬大学教育学部附属特別支援学校／宮崎県立児湯るびなす支援学校

2010年～ 千葉県立柏特別支援学校流山分教室／広島県立広島中央特別支援学校／山口県立下関総合支援学校／岡山県立岡山盲学校／鳥取県立琴の浦高等特別支援学校／福岡県立柳河特別支援学校／熊本県立松橋西支援学校

2020年～ 青森県立盲学校、青森県立ろう学校、青森県立八戸盲学校・聾学校／岩手県立盛岡聴覚支援学校、岩手県立盛岡視覚支援学校／秋田県立聴覚支援学校、秋田県立視覚支援学校、秋田県立きらり支援学校／石川県立小松特別支援学校、石川県立明和特別支援学校、石川県立いしかわ特別支援学校、石川県立ろう学校／群馬県立聾学校、群馬県立あさひ特別支援学校、群馬県立赤城特別支援学校、群馬県立しろがね特別支援学校、群馬県立前橋高等特別支援学校、群馬県立高崎高等特別支援学校、群馬県立伊勢崎高等特別支援学校、群馬県立太田特別支援学校、群馬県立太田高等特別支援学校、群馬県立沼田特別支援学校、群馬県立館林特別支援学校、群馬県立館林高等特別支援学校、群馬県立渋川特別支援学校、群馬県立渡良瀬特別支援学校、群馬県立吾妻特別支援学校／東京都立城南特別支援学校、東京都立青峰学園、東京都立青鳥特別支援学校、東京都立水元小合学園、東京都立中野特別支援学校／埼玉県立秩父特別支援学校／山梨県立盲学校／愛知県立豊橋聾学校／岐阜県立聾学校／三重県立特別支援学校東紀州くろしお学園おわせ分校／滋賀県立聾話学校／京都府立城陽支援学校／奈良県立ろう学校・盲学校／兵庫県立神戸聴覚特別支援学校、兵庫県立姫路聴覚特別支援学校、兵庫県立高等特別支援学校、兵庫県立赤穂特別支援学校／倉敷市立倉敷支援学校、岡山県立倉敷まきび支援学校／山口県立防府総合支援学校／島根県立隠岐養護学校／香川県立香川西部養護学校／福岡県立高等聴覚支援学校／佐賀県立唐津特別支援学校、佐賀県立ろう学校／熊本県立盲学校・ろう学校・はばたき高等支援学校、熊本大学教育学部附属特別支援学校、熊本県立ひのくに高等支援学校／長崎県立聾学校／宮崎県立小林こすもす支援学校 (2023年2月末現在)

[バリアフリー演劇の公演実績] 全国98カ所 のべ 100公演

主催者別実績 小・中・高等学校76校、公共文化施設11ヶ所、社会福祉法人11団体
(2020～2023年2月末現在)

2018年に上演を開始した「バリアフリー演劇」を、離島や被災地も含めた全国各地で上演しています。特別支援学級を包摂したインクルーシブ公演、文化施設での一般公演、社会福祉法人・NPO と連携したバリアフリー演劇祭などを開催。同じ地域に暮らす、あらゆる人が共に鑑賞・交流できる「共生のひろば」を各地に運んでいます。また、創立から障害のあるアーティストとの共同制作、コラボレーションも行っています。2022年は、インクルーシブ劇団夢屋(大阪)、バリアフリー戦隊ダンサナクセイバー(東京)との共演を果たしました。


令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」出演希望調書 No.2

《D区分》公演をメインプログラムとする企画用

【制作団体名 株式会社 東京演劇集団 風 】

企画名	みんなで楽しむバリアフリー演劇	
主な対象学年	幼稚園・小学部・中学部・高等部 ※年齢を問わず鑑賞・体験できます	
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	ワークショップ	全学年(～1000人まで)
	本公演	全学年(～800人まで)
企画の動画等の資料	ダイジェスト映像 URL https://youtu.be/rCpFDTmXBY8	PW

公演について

主な演目 原作/作曲 脚本 演出/振付等	<p style="text-align: center;">バリアフリー演劇 星の王子さま ほか</p> 原作 サン＝テグジュペリ / 演出 浅野佳成 / 音楽 八幡茂 公演時間(100 分)		
著作権	○ 制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>学校のみならず、誰もが楽しめ、思い切り自分を表現できる「バリアフリー演劇」を上演します。</p> <p>■ いつもの体育館で「劇場体験」を 体育館を、子供たちが安全にリラックスして鑑賞できる本格的な「劇場」へと変化させます。見慣れた場所が人の手によって「劇場」に生まれ変わるプロセス、大道具や衣装・照明や音響機材も思い思いにふれて、身体全体で「演劇」を体験します。</p> <p>■ 誰もが鑑賞者となる「バリアフリーな演劇」 演劇に「舞台手話通訳」が登場。舞台上を躍動しながらセリフや音楽を手話で伝え、舞台の背景中央には、セリフや音楽が「字幕」として映し出されます。 同時に、登場人物の動きや場面の变化など、舞台の上で起きていることをライブで伝える「音声ガイド」が子供たちを物語世界へ誘います。</p> <p>■ ボーダレスな舞台の「つくり手」になる 学校のすべての人が「共演者」となれる演出も用意します。 舞台と客席の境界を越えて、個々の想いや衝動を自由に表現できる創造の場です。</p> <p>みんなと一緒に感動を分かち合い、互いを受け入れ、とにかく楽しい！ バリアフリー演劇は、子供たち全員が「主役」です。</p>  <p style="text-align: right;">(詳細は別紙をご参照ください)</p>		

※ 各校の取組み・要望に応え、子供たちの演劇との新しい出会いを生み出せるよう、3つのプログラムを用意しました。

プログラム A

星の王子さま 作 サン=テグジュペリ 演出 浅野佳成 音楽 八幡茂



大切なものは目には見えない 心で見なくてはね

王子さまのちっぽけな星に咲いた一輪の花。王子さまは懸命に世話をしますが、ささいなことでケンカになり、星をめぐる旅が始まります。最後にやってきた地球で、飛行士やキツネと出会い「かけがえのないもの」を学んだ王子さまは、花のために星へ帰ることを決意します。

大切なものを探す王子さまの旅の随所に、全校児童生徒が歌うソング、先生方の特別出演など、参加共演シーンが散りばめられています。

プログラム B

ヘレン・ケラー ~ひびき合うものたち



作 松兼功 演出 浅野佳成 音楽 小室等

これから一緒にがんばりましょう！

見る・聞く・話すことができない少女ヘレンと戸惑う家族のもとに、新米教師アニー・サリバンがやってきます。もっと知りたい、分かり合いたいと願い、格闘するヘレンとアニー。ふたりの情熱と好奇心が、家族を巻き込んでいきます。フィナーレでは、手話歌・指文字で出演者と共演。自分らしい明日を探しているすべての人に贈ります。

プログラム C

Touch~孤独から愛へ (原題:ORPHANS)



作 ライル・ケスラー 演出 浅野佳成

元気づけてやろう！

ふたりきりで暮らす孤児の兄弟の前に、陽気な謎の男ハロルドが現れ、奇妙な男3人の共同生活が始まります。ハロルドと触れ合うことで心を開き、殻を破っていく弟。しかし兄は素直になれず、家を飛び出してしまいます。

3人が新たな旅立ちを迎えるクライマックスに、歌とセリフで参加。いまを生きる私たちの心を揺さぶる、励ましの物語です。

公演従事予定者の編成
(1公演あたり)

A 『星の王子さま』計24名

出演者、舞台手話通訳、音声ガイドナレーター 11名、スタッフ(字幕オペレーターを含む) 13名

B 『ヘレン・ケラー ~ひびき合うものたち』計18名

出演者、舞台手話通訳、音声ガイドナレーター 11名、スタッフ(字幕オペレーターを含む) 7名

C 『Touch~孤独から愛へ』計15名

出演者、舞台手話通訳、音声ガイドナレーター 5名、スタッフ(字幕オペレーターを含む) 10名

会場条件に関わらず、すべての体育館で実施が可能です。
 子供たちが心から安心して、「演劇の世界」を存分に堪能できる環境をつくります。

- 舞台の設置場所 (教室 ・ **体育館**) フロア面に設置します。
- 舞台に必要な広さ 横幅12m × 奥行き9m
- 電源容量(主幹ブレーカー容量)150A 満たない場合は劇団が発電機を用意します。
- 暗転の要否(要 **不要**) 劇団で遮光シートを用意します。
- その他

公演に当たり
必要な会場条件



本番の参加場面
『星の王子さま』



バックステージツアーの様子
『ヘレン・ケラー』



開演前の舞台説明
『Touch～孤独から愛へ』

会場設営の所要
時間(タイムスケ
ジュール)の
目安

前日仕込み(**有**) 無) 会場設営の所要時間(前日2時間・当日3時間程度)

到着	設営・リハーサル・ バックステージツアー	本公演	内休憩	撤去	退出
8時～ 8時30分	8時30分～13時	13時～14時40分	10分	15時～ 17時30分	17時30分

上記のタイムスケジュールはあくまでも目安となります。
 特別支援学校等では、先生方との打合せを十分に行い、各校の時間割や子供たちの生活リズム、日頃の様子などに応じた、1日のタイムスケジュールを作成します。

派遣について

移動方法の制約等 特にありません。マイクロバス1台で移動します。

運搬規模 11tトラック(大型車両) 1台
 ※『星の王子さま』は、11tトラック2台で運搬します。

ワークショップについて

ワークショップ

(内容)

公演前、公演後に行う 2つのワークショップを用意しました。

① 演劇と「友だち」になる共演ワークショップ

公演の約1ヶ月前～当日に実施(45～90分)

本番で共演する出演者と演出家が学校に赴き、参加場面の事前練習を行います。

上演作品のあらすじを紹介したのち、俳優たちが共演する場面をその場で演じます。

その後、俳優たちと子供たちが気持ちを合わせ、動きやセリフ、手話歌・指文字をくり返し練習します。そのなかで「作品に込められた思い」を伝えながら、みんなで思い思いにクライマックスシーンをつくりだします。



② ユニバーサル・ディスカッション ～僕らはいつも旅の途中！

公演当日、体育館や教室にて実施(30～45分程度)

バリアフリー演劇をつくったスタッフである障害の当事者や、第一線で活躍する福祉の専門家らをゲストに迎えて、リラックスした語らいの場を設けます。「手話でどうやって気持ちを伝える?」「障害のある人と会ったら、自分にできることはある?」等、バリアフリー演劇の鑑賞を通じて芽生えた子供たちの疑問をみんなで話し合います。



(体制)

① 演出家、出演者4名、舞台手話通訳の計6名が学校に赴きます。

② 本公演の出演者・スタッフに加え、障害当事者、支援者(通訳者)の計2～3名が公演に同行します。

(目的とする効果)

① 型にとらわれず表現し、みんなとひとつのものを創る喜びを知ってもらう

物語世界にふれ、俳優と関わり合うことで初めて湧き上がる「こうしたい!」を思い切り表現してもらい、ワクワク感や表現することの喜びを知ってもらいます。また、それぞれの気持ちをそれぞれの方法で伝えあうことで、いつもは気がつかなかった友だちの「好き」や「得意」を発見し、みんなで創り上げる演劇の豊かさを感じてもらいます。

② 多様な生き方や表現方法を身近に感じてもらう

子供たちが文化芸術や福祉、教育といった垣根を超えて、広い世界と出会う「窓」を開きます。自分のこと、そして自分以外の誰かについて考え、いろんな人が共に生きていく新たな社会を想像し、対話する時間です。

企画全体について

「すべての子供たちは芸術の発信者であり、社会に風を吹かせる存在である。」
これまで子供たちを前に行った多くの公演を通じて、劇団員一同、そう肌身に感じてきました。

しかし、実際には「周りの人に迷惑をかけてしまうのでは…」 「劇場が近くになく、機会がない」 「障害を理由に、子供たちに寂しい思いをさせたくない」 「盲学校と聾学校の子供たちが一緒に楽しめるものがない」などの理由から、演劇などの舞台鑑賞を諦めてきたと多くの先生方から伺ってきたのも事実です。

そんな先生たちの声に応え、一人でも多くの子供たちに「本物の劇場体験」を届けたい。既存の舞台芸術が持っていた「枠組み・壁」を取り払い、障害のある子もいない子も、一緒に演劇を楽しんでほしい。そして、違いを持った人同士が違いをそのままに、この社会で共に生きていくことの面白さと喜びを知ってほしい。そんな想いで、先生方のご意見を伺いながら、バリアフリーな劇場を創り出します。

好きな時に拍手をしたり、声をあげたり、舞台に駆け上がったりも自由です。その1つ1つが、彼らが鑑賞している証拠であり、演劇の世界に浸ることで生まれてくるその子なりの表現だと考えています。知的好奇心や表現が引き出され、ひとりひとりの表現が重なり合う場は、自身や友だち・先生や家族と新たに会い直す場にもなるはずです。

企画のねらい

みんなで作り出す演劇空間に生まれる「小さな共生社会」が、子供たちが担うであろう未来の社会の種になること、それが「バリアフリー演劇」を通じて私たちの目指すものです。



特別支援学校等
での実施におけ
る工夫等

バリアフリー演劇を基盤に、どのような障害のある子どもと一緒に舞台を楽しく鑑賞・体験できるように、個別の子供たちの現状や体調に即した以下の、配慮・工夫に取り組みます。

■ 体調や安全に配慮した環境・演劇づくり

- 視覚的・聴覚的な情報を保障する舞台手話通訳、字幕、音声ガイドの導入
- 舞台と客席の段差をなくし、車椅子などのまま舞台へ登場できるスロープの設置
- 子供たちのどんな動きもサポートするスタッフを客席・入退場口などに複数名配置
- 季節を問わず最適な鑑賞環境を整える冷暖房器具の持込・設置・温度管理
- 入場口や動線の安全性を確保(ケーブルの配線・足元灯の設置など)
- 医療的ケアの必要な子供たちも参加・鑑賞できるオンラインプログラムの実施
- 子供たちの状況に即した、公演中の客席の明るさや音の大きさの調整
- 時間割や生活リズムを考慮した公演時間の短縮や休憩の延長、演出内容の変更

■ 劇場を身体全体で味わう「バックステージツアー」の開催

「体育館に自分たちの劇場ができた！」という親しみを感じられるよう、舞台をまるごと体験できるバックステージツアーを行います。

普段は見られない舞台の裏側を探検したり、道具を動かしてみたり、音やライトの操作をしたり、衣装を着て俳優になりきってみるなど、舞台を隅々までさわって実体験。案内役を出演者が務め、子供たちの小さな疑問や質問に答えます。

公演前には、本番をイメージしやすいよう、舞台の広さや構造、登場人物・サインネームを紹介する舞台説明も実施します。

■ 先生方との、事前の密なコミュニケーション

子供たちのことを誰よりも知っているのは、普段から関わっている先生方に他なりません。上記の取り組みはもちろんのこと、先生方との打合せを丁寧に行い、ワークショップ・本公演の具体的な実施プログラムを作成します。

学校での日常の様子や活動、それぞれの障害の特性・必要となる配慮、子供たちの好きなこと・得意なことを教えていただきながら、子供たちひとりひとりが輝き、みんなが集える公演のための創意工夫を重ねます。

■ 先生方からご提案いただき、これまでに実施した個別のプログラム例

- 手話歌や指文字、声、楽器など、多様な手法を用いた参加・共演
- 子供たちが主体的に企画・進行するオープニングセレモニーの開催
- 学校で取り組む音楽活動やダンス、朗読などを舞台上で披露するカーテンコール
- 子供たちの美術作品を舞台セットに組み込んだ、特別セットの設営
- オリジナル公演ポスターづくり、地域や保護者への招待状づくりなどの公演前の活動
- 障害の特性や子供たちの興味に応じた、スペシャル教材の制作
墨字・点字による上演台本やパンフレットの作成／俳優の声のメッセージをプレゼント
／手話歌や俳優・劇団紹介を収録した映像配信／サインネーム紹介プリント作成
- 近隣の社会福祉法人利用者との合同による舞台準備・鑑賞・参加

<p>取り組み②(P. 1【募集する取り組み】を参照)で応募する場合、特に重点的に解決に取り組んできた課題(具体的な障がいの種類も記入すること)</p>	<p>■ 青少年・子供たちのための全国での「演劇」公演の実施・継続</p> <p>創立以来、全国の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校において、大規模校・小規模校を問わず、都市部から離れた山間部やへき地、離島を含んだ、全国各地の子供たちとの出会いを繰り返してきました。年間およそ200校を巡って公演を行っています。</p> <p>私たちの舞台表現を鍛えてくれたのは、「子供たち」という若い観客との出会いです。年齢や学力の差、障害のあるなしに関係なく、彼らが鑑賞者となるために、創立以来、すべてのことをやってきたと言っても過言ではありません。</p> <p>子供たちに見せる作品も厳選し、彼らの率直な反応から演出も毎回見直しを図ってきました。そして、全国どこへでも出かけ「劇場」をつくりだすための技術・機材一式、それらを運搬するトラック・バスも準備しています。</p> <p>同時に、公演を計画・実現する専門性の高い俳優・スタッフの育成・研修にも取り組んできました。先生との事前のコミュニケーションを深め、人との関りが苦手な子、不登校など心の課題を持つ子供にも寄り添い、誰一人取り残さない劇場空間を創出する俳優・スタッフが多く在籍しています。</p> <p>■ 障害当事者や福祉の専門家を巻き込んだバリアフリー演劇の制作・研究</p> <p>初めて演劇を観る子供たちや、見えない人、聞こえない人、見えて聞こえる人、知的・精神障害のある人、車椅子ユーザー等の身体障害のある人、医療的ケアが必要な方も含めたどんな人にも開かれた演劇をつくりだすため、視覚・聴覚などの障害のある当事者・個々の障害特性の専門家らとの研究会を立ち上げました。</p> <p>約1年間の議論を重ね、俳優に呼応する舞台手話通訳や臨場感あふれる音声ガイド、舞台美術に自然に溶け込んだ日本語字幕といった、当事者が鑑賞に必要な情報と舞台演出が融合した、バリアフリー演劇を制作しました。</p> <p>現在も、障害当事者や多様な障害特性の専門家・福祉団体との協働・連携をさらに発展させ、舞台芸術をプラットフォームとした共生社会の実現への試みを続けています。</p>
<p>協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等</p>	<p>障害種別を超えて当事者が加盟し活動する「DPI日本会議」、障害のある人とその家族が構成する「全国手をつなぐ育成会」、各地の約30の社会福祉法人からなる「全国地域生活支援ネットワーク」、「全国地域で暮らそうネットワーク」と連携。</p> <p>障害への理解を深めるワークショップへの同行、全国規模のネットワークを活かした各地での広報活動を担います。</p> <p>団体内では、巡回公演等において実績のある劇団の俳優・スタッフによるワーキングスタッフを組織。〈事前ヒアリング・ワークショップ・本公演・事後調査〉を計画・実施します。</p> <p>加えて、下記のメンバーがワークショップ・公演へ同行し、専門家の知見を活かした子供たちとのセッションや指導・通訳・特別講義を行います。</p> <p>大河内直之(視覚障害・音声ガイド監修)、廣川麻子(聴覚障害・字幕監修) 河合依子(聴覚障害・手話監修)、小島祐美(手話通訳士・舞台手話通訳) 尾上浩二(肢体不自由・バリアフリー演劇 総合監修)</p>

1

登場人物と 一緒に駆け回る “舞台手話通訳” ぶたいしゅわつうやく

舞台上で俳優がしゃべるセリフや流れる音楽・音を手話で表現します。また、役者と目を合わせる、演目によって衣装を変えるなど、出演者の一人としてお芝居の中に入り込み、登場人物の心の声も手話で表現します。



ヘレン・ケラー
～ひびき合うものたち



星の王子さま

2

セリフのタイミングに 合わせて出る“字幕” じまく

舞台奥の大道具にセリフを字幕で表示します。また、セリフ以外にも音楽や音の説明も出しています。舞台照明を合わせた際に見やすい文字の色・大きさ・背景など工夫しています。



3

会場全体にライブで 伝える“音声ガイド” おんせい

セリフだけでは伝わらない、登場人物の動き・表情・感情、場面や照明・装置の変化などを伝えます。舞台の流れを止めずに伝えられるよう、セリフとのタイミングを念入りに合わせています。

4

広さや仕組みを紹介する“舞台説明”

ぶたいせつめい

公演前に舞台上を歩きながら、舞台の構造や秘密を話します。大道具や小道具の色や大きさを伝え、さらに叩いたり、持ち上げることで材質や特徴も知ることができます。



6

舞台を探検する“バックステージツアー”

公演中に使用している、大道具や小道具にふれながら舞台上をめぐる。また、衣装を実際に着てみる、照明や音響の操作を試みるなどの体験も行い、俳優・スタッフとの交流を楽しめます。



5

性格や関係性、衣装などの“登場人物の紹介”

とうじょうじんぶつしょうかい

登場人物全員が自分自身のことを話します。公演前に登場人物のことに詳しくなり、また声や足音だけでも舞台上にいるのが誰なのか判断しやすくなります。



【令和5年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施条件等確認書①】

ID	UNI-09	分野 (大項目)	演劇	分野 (中項目)	演劇	区分	D区分
公演団体名	株式会社東京演劇集団 風			制作団体名	株式会社東京演劇集団 風		

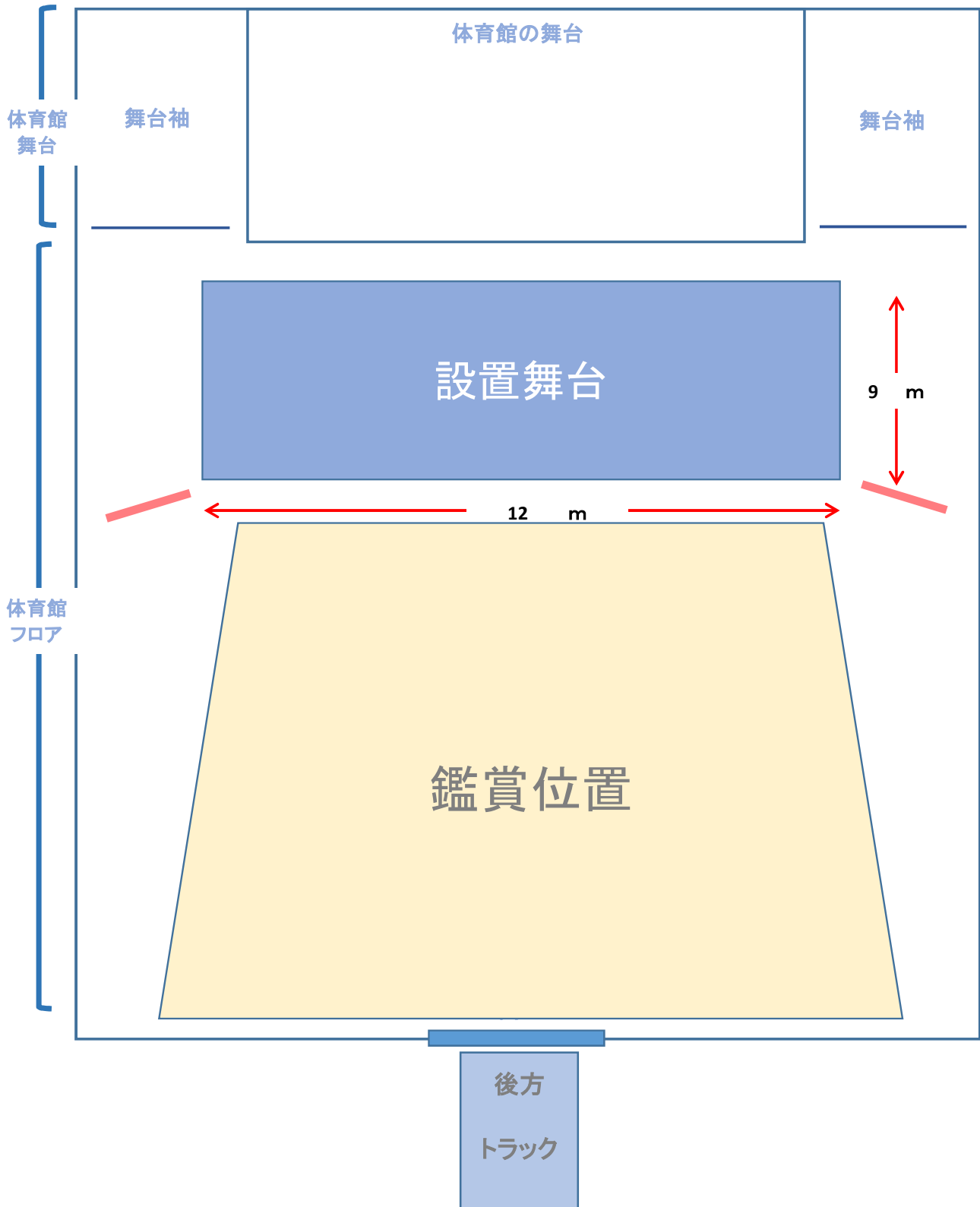
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	1室	条件	授業で使用しない部屋があればお借りたい				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			10t	1台	中型バス	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			大型車両が入れない場合は、小型のトラックへの積み替えなども可能です					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			12m					
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				可	
	搬入経路の最低条件			特にありません					
	理由			搬入経路や体育館の条件を問わず、WS・本公演を実施します					
	設置階の制限 *			問わない				可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1m	高さ	2m		可	
WSIについて	参加可能人数	1000名まで						可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *						
	所要時間の目安 単位:分	45～90分							
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調査」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			800名まで				可	
	舞台設置場所 *			フロア				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12m	奥行	9m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *							
		舞台袖スペースの条件 *							
		緞帳 *			バトン *				
	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	劇団で暗幕を持ち込みます			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
		ピアノの事前調律 *		不要					
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *						可	
公演に必要な電源容量			150A	※主幹電源の必要容量			可		
その他特記事項							応相談		
公演前日に大道具等の体育館への搬入・設営を行いたため、体育館を使用させていただきます。 電源容量が満たない場合は電源									

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



UNI-09	株式会社東京演劇集団 風	前日仕込みの有無	あり
D区分	株式会社東京演劇集団 風	演劇	

6月1日	木	○
6月2日	金	○
6月3日	土	
6月4日	日	○
6月5日	月	
6月6日	火	
6月7日	水	
6月8日	木	○
6月9日	金	○
6月10日	土	○
6月11日	日	
6月12日	月	○
6月13日	火	○
6月14日	水	○
6月15日	木	
6月16日	金	○
6月17日	土	○
6月18日	日	○
6月19日	月	○
6月20日	火	○
6月21日	水	○
6月22日	木	
6月23日	金	○
6月24日	土	○
6月25日	日	○
6月26日	月	
6月27日	火	○
6月28日	水	○
6月29日	木	○
6月30日	金	○
7月1日	土	○
7月2日	日	
7月3日	月	○
7月4日	火	○
7月5日	水	
7月6日	木	○
7月7日	金	○
7月8日	土	○
7月9日	日	○
7月10日	月	○
7月11日	火	
7月12日	水	○
7月13日	木	
7月14日	金	○
7月15日	土	○
7月16日	日	
7月17日	海の日	
7月18日	火	○
7月19日	水	○
7月20日	木	○
7月21日	金	○
7月22日	土	
7月23日	日	
7月24日	月	
7月25日	火	
7月26日	水	
7月27日	木	
7月28日	金	
7月29日	土	
7月30日	日	
7月31日	月	

8月1日	火	
8月2日	水	
8月3日	木	
8月4日	金	
8月5日	土	
8月6日	日	
8月7日	月	
8月8日	火	
8月9日	水	
8月10日	木	
8月11日	山の日	
8月12日	土	
8月13日	日	
8月14日	月	
8月15日	火	
8月16日	水	
8月17日	木	
8月18日	金	
8月19日	土	
8月20日	日	
8月21日	月	
8月22日	火	
8月23日	水	
8月24日	木	
8月25日	金	
8月26日	土	
8月27日	日	
8月28日	月	
8月29日	火	
8月30日	水	
8月31日	木	
9月1日	金	
9月2日	土	
9月3日	日	
9月4日	月	
9月5日	火	
9月6日	水	
9月7日	木	
9月8日	金	
9月9日	土	
9月10日	日	
9月11日	月	○
9月12日	火	○
9月13日	水	○
9月14日	木	○
9月15日	金	○
9月16日	土	
9月17日	日	
9月18日	敬老の日	
9月19日	火	○
9月20日	水	○
9月21日	木	○
9月22日	金	○
9月23日	秋分の日	○
9月24日	日	
9月25日	月	○
9月26日	火	
9月27日	水	○
9月28日	木	○
9月29日	金	○
9月30日	土	○

10月1日	日	
10月2日	月	○
10月3日	火	
10月4日	水	○
10月5日	木	
10月6日	金	○
10月7日	土	○
10月8日	日	
10月9日	スポーツの日	
10月10日	火	○
10月11日	水	○
10月12日	木	
10月13日	金	○
10月14日	土	○
10月15日	日	
10月16日	月	○
10月17日	火	○
10月18日	水	○
10月19日	木	○
10月20日	金	○
10月21日	土	
10月22日	日	○
10月23日	月	○
10月24日	火	○
10月25日	水	○
10月26日	木	○
10月27日	金	○
10月28日	土	
10月29日	日	○
10月30日	月	○
10月31日	火	○
11月1日	水	○
11月2日	木	○
11月3日	文化の日	○
11月4日	土	
11月5日	日	○
11月6日	月	○
11月7日	火	○
11月8日	水	○
11月9日	木	○
11月10日	金	○
11月11日	土	
11月12日	日	
11月13日	月	○
11月14日	火	○
11月15日	水	○
11月16日	木	○
11月17日	金	○
11月18日	土	
11月19日	日	○
11月20日	月	○
11月21日	火	○
11月22日	水	
11月23日	勤労感謝の日	
11月24日	金	
11月25日	土	
11月26日	日	○
11月27日	月	○
11月28日	火	○
11月29日	水	○
11月30日	木	○

12月1日	金	○
12月2日	土	○
12月3日	日	○
12月4日	月	○
12月5日	火	○
12月6日	水	○
12月7日	木	○
12月8日	金	○
12月9日	土	○
12月10日	日	
12月11日	月	○
12月12日	火	○
12月13日	水	○
12月14日	木	○
12月15日	金	○
12月16日	土	○
12月17日	日	○
12月18日	月	○
12月19日	火	○
12月20日	水	○
12月21日	木	○
12月22日	金	○
12月23日	土	
12月24日	日	
12月25日	月	
12月26日	火	
12月27日	水	
12月28日	木	
12月29日	金	
12月30日	土	
12月31日	日	
1月1日	元日	
1月2日	火	
1月3日	水	
1月4日	木	
1月5日	金	
1月6日	土	
1月7日	日	
1月8日	成人の日	
1月9日	火	○
1月10日	水	○
1月11日	木	○
1月12日	金	○
1月13日	土	○
1月14日	日	○
1月15日	月	○
1月16日	火	○
1月17日	水	○
1月18日	木	○
1月19日	金	○
1月20日	土	
1月21日	日	○
1月22日	月	○
1月23日	火	○
1月24日	水	○
1月25日	木	○
1月26日	金	○
1月27日	土	○
1月28日	日	○
1月29日	月	○
1月30日	火	○
1月31日	水	○